

# アクティブサスペンションコントローラー ランドクルーザー URJ202W(H21.5~) 補足説明書



エアサス/アクティブサスリモートコントローラー  
**ASR681LC**

**⚠ 製品をご使用になる前に必ず「ASR681取扱説明書」および「本補足説明書」をよくお読みください**

**Data System 株式会社 データシステム**

- [ 本 社 ] 東京都新宿区新宿 1-18-2 TEL.03-5369-4137 (代)
- [ 倉敷支社 ] 岡山県倉敷市神田 1-1-11 TEL.086-445-1617 (代)

自動音声案内に従って下記の#(シャープ)と番号を押してください。  
#1 適合確認 #2 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付) #3 在庫確認・ご注文  
(※ コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねますので予めご了承ください)  
弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。

## ■ 使用上の注意

### ● 駐車中の車高について

本製品で車高を上げた状態でイグニッションスイッチをOFFにすると、車両の状態によりノーマル車高に戻る場合があります。これは車両側車高制御上の正常な動作であり、故障ではありませんので予めご了承ください。本製品で下げた車高はイグニッションスイッチをOFFにしても維持されます。

#### 本製品での車高UP



#### 本製品での車高DOWN

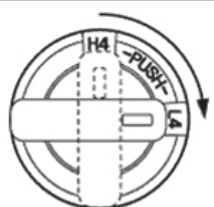


### ● L4 切り替え時の制御について

本製品にて車高を変化させている状態でトランスファポジションスイッチを「L4」に切り替えると、「L4」選択中は本製品での車高制御を一時的に中断してノーマル制御に戻します。この動作中は本体表示が「no」の点滅表示になります。

※L4+ 速度 3km/h 以上で車両側が自動的に車高を約 50mm 上げるため、本製品の車高制御と重複する事によるトラブルを防ぐための処理です。

#### トランスファポジションスイッチ



### ● 車高変更の動作について

いずれかのドアを開けていると車高は変化しません。車高を変更する際は、必ず全てのドアを閉じてからおこなってください。

### ● 車高メモリー切り替え時の動作について

車高メモリーを切り替える(NORMAL ↔ H1 ↔ H2)と車両側ハイトコントロールインジケータの表示がN → H1 → Nと変化しますが、これは本製品の制御上の動作で故障や異常ではありません。

## ■ 初期設定

### ● 初期設定について



**⚠ 重要** 本製品装着後、初期設定(本体及びリモートコントロールユニットの保安基準設定)を必ずおこなってください。初期設定方法については取扱説明書 11~12 ページ、15~16 ページをご参照ください。尚、本製品はランドクルーザー 200 専用品ですので車種設定はおこないません。

## ■ 本体およびコントロールユニットのリセットについて

**⚠** 詳しい操作手順は ASR681 取扱説明書 29~30 ページを参照してください。

● 本体のリセット リセット後、ASR681 取扱説明書 12 ページの状態に移行します。

### ● コントロールユニットのリセット

リセット後、必要に応じて ASR681 取扱説明書 15~16 ページをご参照の上、保安機運設定をおこなってください。

## ■ コントロールユニットと本体との通信について

**⚠ 重要** コントロールユニットと本体とが通信した際、保安基準設定 / 保安基準解除設定を含めた本体内部全ての設定値をコントロールユニット内の設定値に更新しますので、本体で設定した値よりもコントロールユニットで設定した値のほうが優先されます。

## ■ 車高設定段階について

車高設定値	保安基準解除設定
F	HIGH
E	
D	
C	
B	
A	
0	NORMAL
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
L	LOW

↑ 高くなる  
↓ 低くなる

車高設定値	保安基準設定
B	HIGH
A	
0	NORMAL
1	
2	
3	
4	
5	LOW

↑ 高くなる  
↓ 低くなる

### ● ハイトスイッチとの併用不可

「NORMAL」以外の車高メモリー(H1 または H2) 選択中は、車高設定値に関係なくハイトスイッチ操作(HI 側・LO 側共)をおこなうと、本体に下図の警告画面を表示すると共に車両側モード表示ランプが自動的に「N」に戻ります。本製品による車高設定と車両側ハイトスイッチとの併用はできません。

「NORMAL」選択中は車両側ハイトスイッチが使用できます。

#### 車両側ハイトスイッチ



#### 本体警告画面表示



#### ハイトスイッチ

### ● 高速走行時の制御について

純正の機能により高速走行(速度 110km/h 以上)時に約 20mm 車高が下がります。本製品で車高を下げた状態でもこの純正機能は働きますので、本製品で設定した車高よりも更に下がる可能性があります。よって走行する際は必ず車高メモリーを「NORMAL」に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください(車高メモリーについては取扱説明書 18 ページを参照してください)。

「NORMAL」以外の車高メモリー(H1 または H2) を選択している場合、純正機能による車高の下がりすぎを極力抑える為、本製品により速度 100km/h 以上で車高を約 20mm 上昇させます\*。また、この制御は速度 70km/h 以下になるまで持続し、その後設定した車高に戻ります。但し、この制御によって 100% の安全が確保されるわけではありません。予期せぬ車高変化や車高設定値によっては本製品で設定した車高よりも下がる場合もあります。よって走行する際は必ず車高メモリーを「NORMAL」に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください。

\*ノーマル車高よりも下げている場合にこの制御が作動しますが、この制御によって車高がノーマルよりも上昇することはありません。また、ノーマル車高以上に車高を上げた設定にしている場合、この制御は作動しません。